

情報処理を活用したシステム構築の検討

小川 昂 佑*

業務を効率化するための技術として注目されている IoT を用いた技術支援を推進するにあたり、地域企業の要望・動向を把握するため調査を実施したので、その結果を報告する。

1 はじめに

近年、製造コストの削減や人材の不足などの問題があり、業務の効率化が求められている。そこで、解決策の一つとして注目されているのが、IoT (Internet of Things) である。地域企業でも、業務の効率化が求められており、IoT を用いた技術支援を推進する必要がある。

今回は、地域企業の要望・動向を把握するため、IoT に関する調査を実施した。

2 調査

2.1 調査内容

主に機械金属業の地域企業に対して以下の3つの項目を調査した。

- IoT の導入状況
- IoT を導入していない企業に対して、IoT の必要性
- IoT で解決可能な課題

2.2 調査結果

調査した結果を図1に示す。29社に対して調査し、3社が導入済み、26社が導入していないと回答した。さらに導入していない26社のうち、22社が必要を感じていない結果となった。「コストが高い」や「導入した後のビジネスモデルが不明確」などの意見があった。業種に合わないため、導入したとしても利点がなく、予算や人材を投資できないと考える企業がほとんどであった。

また IoT を必要としていると回答した企業は4社

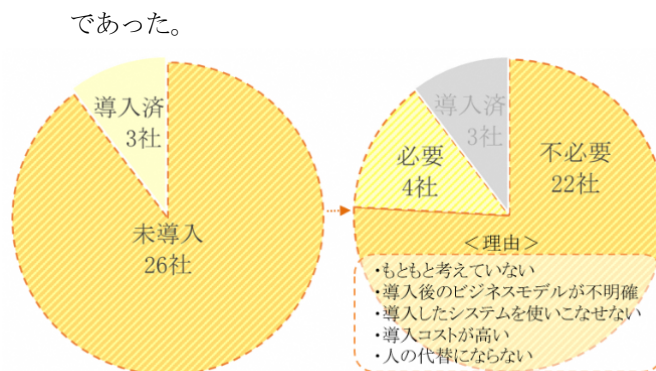


図1 IoT の導入状況及び必要性

2.3 考察

調査対象となった多くの企業が業務と IoT の技術を関連づける必要性を感じておらず、現段階では積極的に業務の IoT 化を進めていない傾向にあった。そこで IoT に関する技術支援を推進させるためには、具体的なシステムを提案し、実例を示す必要があることが分かった。

3 まとめ

地域企業への調査により、IoTを導入していない理由が確認できた。調査した意見から今後は、安価で操作が容易なシステムを提案することとする。また、当面の目標として「生産支援」「生産作業補助」「生産機器補助」の観点からシステムを検討していく。

*技術支援課 主任